



平成21年度 収支予算と事業計画〔要約〕

平成21年度事業計画の重点事項

21年度は、3か年経営計画の初年度として、放送をめぐる環境が激変する本格的なデジタル時代に向け、諸計画を達成するための取り組みを確実に進めます。

- 1 視聴者のみなさまの信頼を高めるため 組織風土改革に全力をあげます
- 2 日本の課題、地球規模の課題に真正面から向きあいます
- 3 放送・通信融合時代の新サービスで公共放送の役割を果たします
- 4 地域を元気にするための拠点となります
- 5 日本を、そしてアジアを、世界に伝えます
- 6 円滑な完全デジタル化に向けて重点的に取り組みます
- 7 構造改革を推し進め 効率的な体制で 受信料の価値をより大きくします
- 8 受信料を公平に負担していただくための取り組みを強化します
- 9 環境経営に着実に取り組みます

収 支 予 算

(単位 億円)

区 分	平成20年度 予 算 額	平成21年度 予 算 額	増 減 額	増 減 率
事 業 収 入	6,575	6,699	124	1.9%
受 信 料	6,350	6,490	140	2.2%
その他の事業収入	224	※1 208	△ 15	△ 6.9%
事 業 支 出	6,472	6,728	256	4.0%
国 内 放 送 費	2,774	2,858	84	3.0%
国 際 放 送 費	111	129	18	16.5%
契 約 収 納 費	590	579	△ 11	△ 1.9%
人 件 費 ※2	1,802	1,834	31	1.8%
その他の事業運営費	272	※3 393	121	44.6%
減 価 償 却 費 等	921	933	12	1.3%
事 業 収 支 差 金	102	△ 29	△ 131	—
建 設 費	769	※4 802	33	4.3%

※1 国際放送関係の交付金35億円含む。

※2 給与および退職手当・厚生費。

※3 地上テレビ放送の完全デジタル化に向けた追加経費100億円含む。

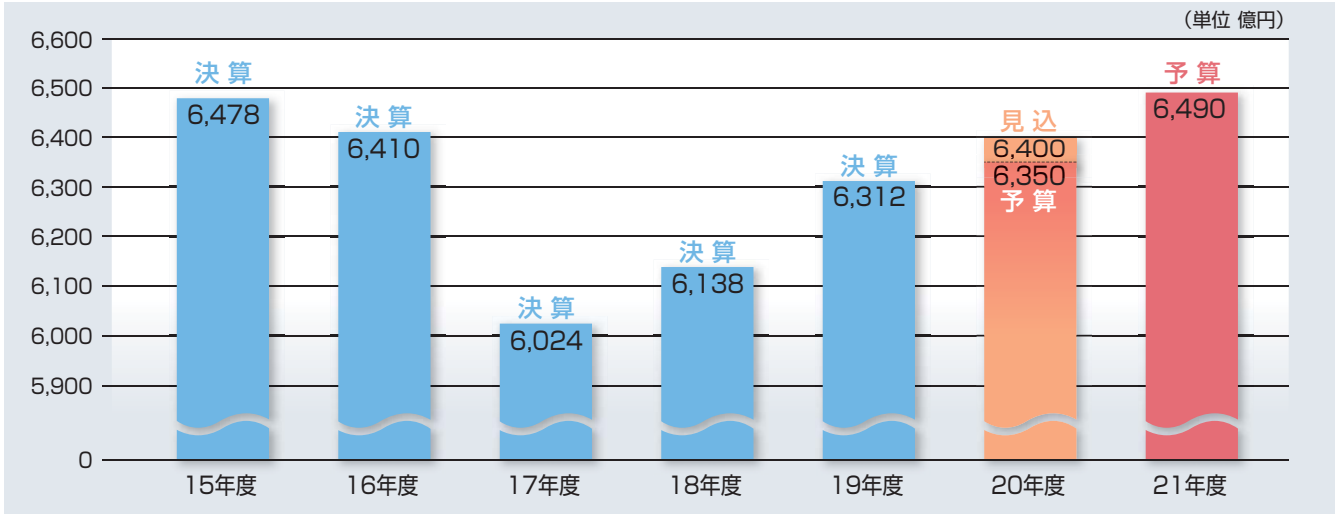
※4 地上テレビ放送の完全デジタル化に向けた設備投資374億円含む。

(億円未満は切り捨てて表示しています)

受信料収入

平成21年度の受信料収入は、公平負担の徹底を目指し、20年度予算6,350億円を140億円上回る、6,490億円を目指します。

受信料収入の推移



受信契約件数等の年間増減

(単位 万件)

区分	19年度決算	20年度予算	20年度見込	21年度予算
受信契約件数	22	25	19	30
年度末件数	3,640	3,663	3,659	3,689
うち衛星契約	50	45	45	60
年度末件数	1,334	1,369	1,379	1,439
未収削減	△ 30	△ 30	△ 18	△ 25
年度末件数	268	236	250	225
支払率	70.7%	71.6%	71.5%	72.2%

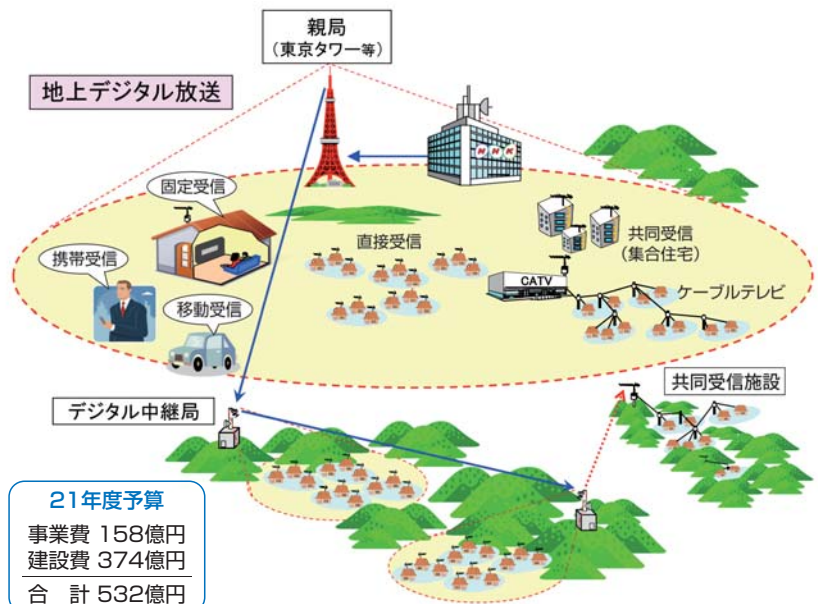
地上テレビ放送の完全デジタル化に向けた取り組み

視聴者のみなさまがデジタル放送のメリットを享受できるよう対策を推進

- デジタル中継局や放送局内の設備のデジタル化対応等、必要な施設・設備に重点投資
- 全国約50か所の「総務省テレビ受信者支援センター」に協力、デジタル相談に対応
- デジタル化で電波が受信できなくなる地域の難視聴対策や混信対策を実施

デジタル難視聴対策など国や民放等と連携した受信環境整備

- 地上デジタル放送の難視聴地域における共同受信施設等への経費助成
- アナログ放送終了に向けて、番組等を通じた周知広報活動を強化



平成21年度の主な番組など

○冬季オリンピック・バンクーバー大会(平成22年2月12日～28日)

○バンクーバー2010パラリンピック大会(平成22年3月12日～21日)

総合

「金曜ドラマ」〈金・後10時台〉
「追跡!A to Z」〈土・後8時台〉
「ワンダー×ワンダー」〈土・後10時台〉
スペシャルドラマ「坂の上の雲」(第1部)〈11～12月〉
NHKスペシャル「プロジェクトJAPAN」
「つばさ 一連続テレビ小説」〈月～土・前8時台〉
大河ドラマ「天地人」〈日・後8時台〉

教育

○放送開始50周年(平成21年1月)
「みいつけた!」〈月～金・前9時台〉
人形劇「新☆三銃士」〈(後期)金・後6時台〉
「ニュースで英会話」〈木・前6時台〉

衛星ハイビジョン

「プレミアム8」〈月～金・後8～9時台〉
「ふるさとから、あなたへ」〈月～金・後4時台ほか〉

衛星第1

○放送開始20周年(平成21年6月)
「@キャンパス」〈日・後6時台〉
「ニューヨークウエーブ」〈日・後6時台〉



大河ドラマ
「天地人」

衛星第2

○放送開始20周年(平成21年6月)
「わんにゃん茶館(カフェ)」〈木・後8時台〉
「ごきげん歌謡笑劇団」〈年10回・金・後9時台〉
「週刊 手塚治虫」〈4～10月・金・後10時台〉

ラジオ第1

「こうせつと仲間たち」〈火(隔週)・後9時台〉
「浜マガZ」〈日・後7～9時台〉

ラジオ第2

「ワンポイント・ニュースで英会話」〈月～金・前8時台〉
「中文日本百科」〈土・日・後5時台〉

F M

○放送開始40周年(平成21年3月)
「ミュージックライン」〈月～金・後9～10時台〉
「にっぽんのうた 世界の歌」〈月～金・前9時台〉

視聴者のみなさまとともに考え、ともに作る番組やイベントに取り組みます。

- **地域** 「地域発!ぐるっと日本」、地域が直面する課題に向き合うイベントや地域文化に貢献するイベントの実施
- **防災** 防災の日に関連した特集番組、「NHK防災キャンペーン」の全国展開
- **福祉** 「子どもサポートネット」の展開、「NHKハート展」「NHK歳末・海外たすけあい」など「NHKハートプロジェクト」の実施
- **食料** 「産地発!たべもの一直線」、全都道府県での「ふるさとの食につぼんの食フェスティバル」の実施
- **環境** 「SAVE THE FUTURE」、「NHKエコパーク」など環境キャンペーンの実施

いつでも、どこでも、もっと身近に (NHKコンテンツの“3-Screens”展開)

さまざまな年齢層の視聴者のみなさまが、テレビ、パソコン、携帯端末等自ら選んだメディアで、いつでも、どこでも、信頼できる確かな情報を見られる環境を整備します。

ワンセグ独自放送

- 携帯端末にふさわしい番組や情報を提供

デジタルアーカイブスサービス

- NHKが保存している映像や音声を視聴者の関心や利用目的に合わせた形で提供するサービス

クロスメディア展開

- 教育番組に連動した教材や、双方向学習ができるデジタルコンテンツの提供
- 緊急災害報道と連携し、携帯端末に安心情報を提供



NHKオンデマンドの充実 (インターネットで有料配信する動画サービス)

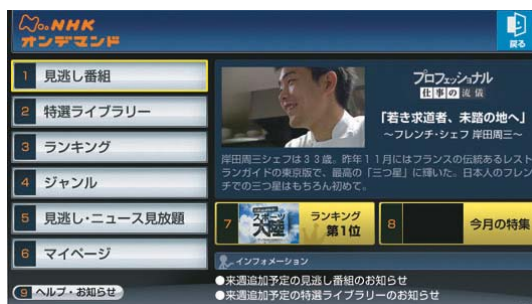
「見逃し番組」サービス

「大河ドラマ」「朝の連続テレビ小説」など毎日10～15番組とニュース5番組を、放送後24時間以内に配信を開始し、一週間程度ご覧いただけるサービス

「特選ライブラリー」サービス

過去に放送したドラマや「シルクロード」「NHKスペシャル」といった大型ドキュメンタリー番組などを配信するサービス

NHKオンデマンド



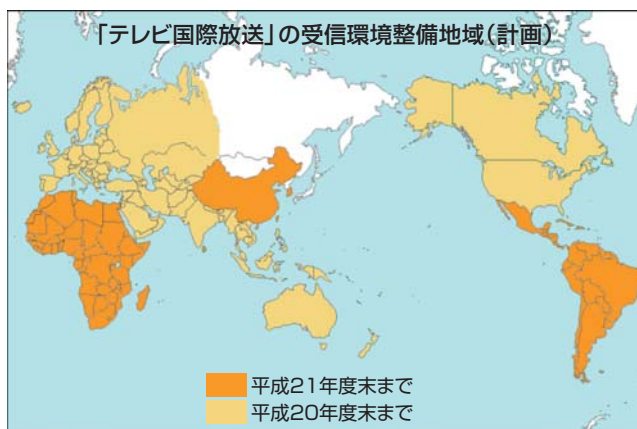
国際放送による情報発信の強化

- 最新のスタジオから英語ニュースを24時間毎正時に放送、アジアニュースや経済情報の発信を強化
- 独自英語番組、英語化番組の充実・強化、ニュースと合わせて完全英語放送を実施



国際放送新ニューススタジオ

- 海外での受信環境整備として、新たに中国、アフリカ、中南米各地域の衛星借用等を推進



「視聴可能世帯数」21年度末目標：1億2,500万世帯

視聴者のみなさまからの信頼回復と経営改革

- 経営改革の推進とともに、コンプライアンスの徹底と職員の研修を強化し、組織風土の改革を図ります。
- ふれあいミーティングやコールセンターなど視聴者のみなさまの声を経営に反映させる回路をさらに充実します。
- 構造改革を推進し、経営資源の重点配分を図りつつ、すべての部門を聖域なく見直し、支出を抑制します。
- NHKグループ全体で最適な経営を目指すとともに、取引の競争を推進し、効果的かつ効率的な業務運営を図ります。

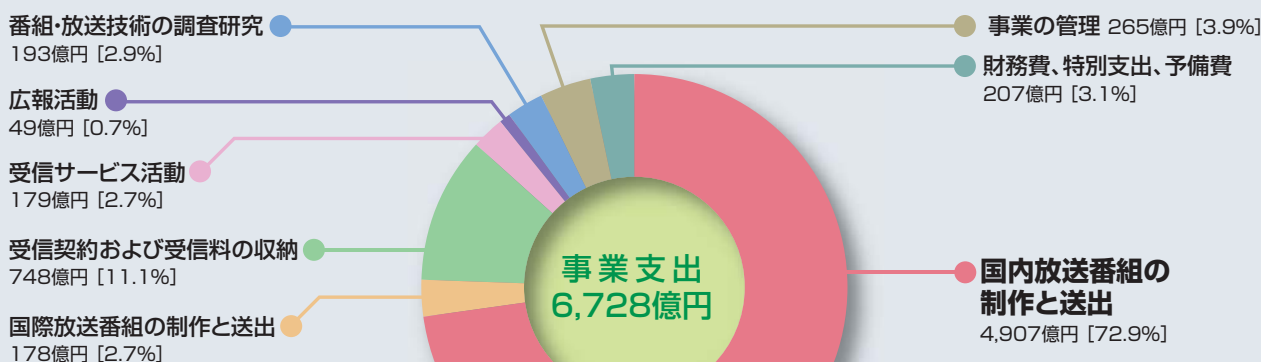


ふれあいミーティング



コールセンター

業務別予算(人件費・減価償却費を含む)



[]内は構成比率

人件費と減価償却費については要員・施設に応じて配分しています。

予算や決算に関する詳しい資料はNHKのホームページでもご覧になれます。 <http://www.nhk.or.jp/pr/>